

## 二宮町町民活動推進委員会 第8回議事録

日 時：平成28年1月21日（木） 19：00～21：30

場 所：二宮町 第一会議室

出席者：手塚委員長・大河原副委員長、澁澤委員・菅澤委員・松本委員・山口委員  
・山岡委員・吉見委員・筑紫委員

事務局：西山課長・二宮班長・鳥海主任主事

傍聴者：0名

配布資料

- ・会議次第
- ・二宮町町民活動推進委員会答申書（案）
- ・第7回会町民活動推進委員会議事録
- ・二宮町町民活動推進補助金交付要綱の一部を改正する要綱新旧対照表（案）

### 1. 開会（西山課長より）

### 2. 委員長あいさつ

### 3. 議題

#### ◆事務局より確認事項

- ・会議は原則公開とさせていただきます。
- ・会議の議事録のまとめ方と公開について、昨年度と同様に要点筆記にてホームページで公開させていただきます。
- ・今回の議事録署名人は手塚委員長と松本委員にお願いいたします。
- ・二宮町町民参加活動推進条例施行規則第7条第1項に基づきまして、委員長が議長となることとなっておりますので、議事進行を手塚委員長によるしくお願いいたします。

（委員長）はじめに会議の公開についてですが、本日の審議内容については公開して問題のあるものではないと思われま。傍聴人の方はいらっしゃいますか。

（事務局）本日の傍聴希望者は、おりません。

（委員長）それでは、議題に入りたいと思います。

（1）答申について、事務局より説明をお願いします。

（事務局）事務局より説明させていただきます。答申書（案）につきましては、網掛けのところが、中間答申と違っている箇所や追加した箇所となっております。

（委員長）答申という事で各委員に読んできていると思いますが、疑問に思う所があれば修正を

加えていきたいと思いますがいかがでしょうか。

順序としては、はじめにという所で意見をまとめましたと書いてあります。やったことと今後に向けてという事をかいてありますが、他に付け加えた方が良くと思うものがあれば意見をお願いします。

(委員) 5行目の「今後の課題について検討してきました。」とあるのですが、今後の町民活動のありかたや進め方ではないのでしょうか。課題ではないと思います。

課題を議論しながら今後の町民活動をどう進めるのかということだと思います。

(委員長) この個所は、「今後の二宮町における町民活動の推進、施策のあり方及び進め方」でどうでしょうか。

(委員) はい。

(委員長) ここで、町の方のありかたを進めるにあたり、肝心なのは一人の町民として町民参加がどうあるべきなのかという事が委員の中から意見が出されたと書いてあるのは良いと思いますので、そこはそのまま使いたいと思います。

次に論議と議論について、事務局より指摘がありました。

(事務局) 言葉を辞書で確認したところ。論議：意見を論じ合い深めること、議論：意見を戦わせることとなっていたため、論議が言葉としてふさわしいと思い指摘しております。

(委員長) それでは、今後は論議を使っていくことにします。

最初の諮問が「現在の社会状況における町民活動の推進方法について」ということで、  
(1) 基本的な考え方のところは、「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査」や「二宮町総合計画中期基本計画（素案）」の中からピックアップしてあり、その後現在の地域課題が入っている状態です。これを踏まえていく事になりますので、過不足が無いかの確認をしていきたいと思います。

(事務局) 本日、委員より答申書の修正案をいただきましたので、ご確認をお願いします。

(委員長) 修正された方を一読してから、ご意見を伺います。

(委員) 修正は、趣旨を変えたのではなく、整理をしてみました。

(委員長) 字数的には、どうでしょうか。

(事務局) 他の答申を参照しても、字数の差があるので問題ありません。

(委員) 議事録を読みつつ答申書を読むと、前回の議論ではもう少し社会状況などを大きくとらえた方が良くのではないかという意見もあったかと思いますが、その辺りはどうなのでしょう。

(委員長) 残念なのは、アンケートの実態調査結果が1行も書かれていないことです。答申書のはじめにの所で「現状の調査をし」「町民の意見を聞いた」との文言が入っていて、以前に国の事を話したので、その部分だけが残ってしまったのは残念です。もちろん国全体での流れは、62.3%がボランティア活動に関心があり、47.6%が情報提供を求めている事から、中間支援を進めようという流れがあるとして、では、町を見た場合はどうなのかという事で、動きは多いのにそのことが見えづらいのは残念ですという

ことを書いても良かったかもしれません。その辺りはどうでしょうか。

(委員) あった方が良いと思います。個人の情報があって、町の情報があって、国の情報があつた方がバランス取れていいと思います。

(委員長) 折角調査をしたので、そこで議論したことを3行程度でも入れた方が良いと思います。場所としては、中期基本計画の次でどうでしょうか。「このように、個人においては町民活動への意識はより高まっており」のところに、みんなある程度活動しているという事が追加されるかと思います。

他に入っていた方が良いということはありませんか。

(委員長) もし、こういう枠組みで行くのであれば、国のことが先に入ると身近なことではないことから、引き寄せられないので、町のことが先にあつて、その結果アンケート調査のことに触れて、そこで国の調査で意識が高まっているという組立でも良いと思います。

(委員長) そこは、感覚だと思います。広いところから狭いところへ話を進める手法や目の前の動きのことを整理してから広げてまた戻すという手法もあります。

(委員) 戦略会議やいろいろな社会状況があるということを前回に議論をしていたので、そういうところから入るのかとイメージしていたが、少しフォーカスして町民活動にテーマを絞っていくという事であれば、これはこれで整理していただいたものの方が分かりやすいと思うのですが、ただ、この形でいくのであれば、入れ替えた方が分かりやすいかと思ったので、意見させていただきました。

(委員長) 国の部分のところをはじめにのところに入れるというのも一つの方法であります。よくやるのは、はじめにのところ潮流などを入れて答申書を作ることもあります。

(委員) 私は、これで良いと思います。広くから狭くの方が分かりやすいと思います。

(委員) 私は、これでいいと思います。良くある形ですので、見やすいと思います。また、今日渡された方は、整理されたことで内容も見やすく入りやすくなっていると思います。

(委員) 確かに足元から入るのも良いと思います。論議の流れを考えて組み替えた方が良いと言うのも分かるので、選ぶのは難しいです。

(委員) 町の状況を加えていくと全体の枠組みが見えてくるとと思いますので、その時にどちらの方がずっと入って来るのか判断できると思います。町の部分でどういう文章が入って来るかはまだ検討するところがあるので、その内容を確認してから流れをみて全体を整理することでどうでしょうか。

(委員長) 入れる内容としては、実態調査によればという部分があるといいと思います。それが浮いてしまうようであれば、頭に2行程度入れて最後にまた締めておわりで結論に持って行くという方法もあります。

ここは、もう少し町の状況を加えてもらってからという事でお願いします。

続いて、(2) 推進方法についてというところで、①協働のまちづくりに入りたいと思います。

こちらには、今までは補正金やサポートセンターを使ってくださいと、活動している方への支援を行ってきた。今後は、活動にあまり興味を持っていなかった方へ促しをしていかなければいけないということが書いてあります。ここには、「情報発信を充実させ」と書いてあり、「十分に認識してもらえるように働きかけていくこと」この2本が施策や方策として書いてあります。

(委員) ①協働のまちづくりというタイトルが、後の「町民の参加意識向上」や「職員の意識向上」と繋がらない。何を意味しているのか分からない。

(委員長) 多分、①協働のまちづくりで②発展的な考察なので、発展的な考察の前になるので、現実ややることをとらえていると思います。

(委員) ここで、推進方法として幾つかあげています。具体的な方法がここで出されていますが、それに協働のまちづくりというタイトルは適切ではないと感じます。ただ、協働のまちづくりという言葉は、かなり条例の中でも大事な部分なので、残していきましょうということが話しでありました。この協働のまちづくりはベースになってきますので、基本的な考え方の中でこういうことをしながら、町も協働のまちづくりについて条例などで謳っていることから、さらに推し進めていくこととして、具体的な推進方法のところには、先ほどの2、3行のところから選んで、こういうことを進めるや町民の参加意欲を高めるとか、職員の認識向上とか言う事を整理して書いていった方がスッキリするかと思います。

①協働のまちづくりと②発展的な考察は、並ばないと思います。

(委員長) 全体のバランスを見る為に次の項目を見ると、①②③と記載をしている箇所があります。諮問2では、①補助金の仕組みについて②補助の目的と内容であると③④⑤と続いています。このように軽い感じに丸が使われているとすると、ここでは重くなってしまっているかなと思います。もう少し、具体的な言葉の方が良いのかなと思います。

(委員) これは、このような形でなくていいと思います。

協働のまちづくりを基本的な考えのところにに入れてしまって、推進方法のところの前段があって、もし入れるのであれば、①町民の参加意欲向上、②職員の認識向上と続けられると思います。それで、発展的な考察も⑤とかにするのはどうでしょうか。

(委員) 推進方法の中にこの考え方が入っているのだから、先ほどの意見の形の方が良いと思います。

(委員長) 協働のまちづくりの文章が推進方法についての前文にするということですね。協働のまちづくりというタイトルを削除することで良いでしょうか。そして、①②③と番号を振っていきます。発展的な考察については、どうでしょうか。

(委員) 前回の議論の時に、資金バンクのことなどは答申書の最後のところに記載しようかという話もありました。諮問に対しては、シンプルに答申を出して、その辺り議論に出てきた、資金バンクのことや条例の見直しなどは、最後に入れた方がまとまるのではないのでしょうか。

(委員長) 全体のバランスとして、答申に向けた議論の内容の中には入れないで、4番「議論の経過」の前に発展的な考察をいれるということではいかがでしょうか。そうすることでかなり際立つかと思います。委員会では、発展的な考察をしたということに記載します。

ただ、答申に向けた論議の内容は、ここままで、答申ではない部分で委員会から出た意見を別に出していく事になります。そうすると「論議の経過」が5番になり。「資料」が6番、「おわりに」が7番となります。そこに協働のまちづくりに向けた発展的な考察とすると協働のまちづくりという言葉が残りますがどうしますか。

(委員) 推進方法の括りの中の協働のまちづくりを外すのであれば、次の「職員の認識向上」の中に「協働によるまちづくりに寄与し」という言葉が入っていて、「町民の参加意欲向上」の中に協働のまちづくりが入っていないので、こちらに協働のまちづくりとの入れると生きてくると思う。

(委員長) 後半の方にある、「自分たちの暮らしが豊かになるという理解」の所やその辺りが、協働のまちづくりの果実だという書き方にしないといけないかも知れません。

「町民活動に参加できるような機会の提供」のところの町民活動を協働のまちづくりにむけた町民活動に参加できるような機会の提供とすることでどうでしょうか。

(委員長) 少し話は変わるのですが、ここに少し調査の事が書いてありますので、この辺りの文章を少し調整して、前の方に持って来て利用すると良いかと思います。

答申書などは、何度も同じことが書いてあることがあるので、無理に文章を作らなくてもいいと思います。

(委員長) 最後のところで、参加できるような機会の提供をはかり、協働にまちづくりを推進する。くだいですね。

(委員) 協働のまちづくりというのは、町民と行政の協働だけでなく町民同士や団体との連携とかもあるかと思います。それが新しい論議の視点でした。その辺りが、もう少し何とかならないでしょうか。特に職員の認識向上では、町民との協働が強く言われているように感じます。

(委員長) そこは町として町民との協働をはかるとの表現で良いと思います。

(委員) 町民活動団体と良好な関係を築きなどの表現があってほしい。

(委員長) 中間支援の話先ほど少ししましたが、前の方の情報が届かないとの話をしましたが、その役割は行政やセクターにあるということが最近強く言われている。行政の認識向上の所にも、そういう新しい仕組みも入って来るのかと思います。ただ、この段階でどこに入れるのかを迷っています。

単純に参加意識意欲向上の所に入れるだけで、何とか読み取ってもらえないでしょうか。

(委員長) 多くの町民が参加することにより、協働によるまちづくりが進み又は促進されなどでどうでしょうか。

(委員) ここに入ると話が綺麗に回ります。入れ方としては、この辺りがいいです。

(委員長) この辺りで良いでしょうか。

(委員) はい。

(委員長) 構成としては、(2) 推進方法について、前文、①町民の参加意欲向上、②職員認識向上、③町民活動等に関する推進計画で、発展的考察は後ろの方へ移動となります。これで、諮問1「現在の社会状況における町民活動の推進方法について」を終えます。続いて、諮問2町民活動推進補助金の補助のあり方について入ります。修正箇所としては、⑤補足事項の所が網掛けで修正されています。

(委員) ここは、こだわって修正した箇所になります。必要なという言葉を使っていますが、立場や置かれている環境によって違うと思いますので、あまり必要という言葉は町民活動で使うのは相応しくないと考えます。皆必要だと思って活動をしているので、それを行政で判断は難しい。あいまいな表現になってしまいますが、さまざまな観点からその重要性を判断したうえで選択と集中ということを入れた方がいいのかなと思いました。表現を変えさせていただきました。

(委員長) さまざまという言葉は、多角的などの表現の方が良いと思います。そして、「重要性を判断したうえで」を「重要性を判断し」にして、選択と集中の箇所に繋げてさっぱりする。判断したうえでとなってしまうと一段階判断が入ってしまう。

(委員) そうですね、無い方が良いと思います。

(委員長) 修正箇所を確認します。

補助終了後の活動団体の活動支援の必要性、ここの必要性については、活動支援の必要性なので、問題無いかと思います。サポートセンターとの関係性についても論議を深めた。

また、今後の補助金の考え方として、より効果的に活動を推進していくために、多角的な観点からその重要性を判断し、選択と集中を図っていくことも検討課題と考えるとなります。

(委員長) 要綱の改正について書いていせんがどうでしょうか。

(事務局) 補助金の制度を変更する段階で要綱の改正は自動的に必要になるので、書く必要性は無いと考えています。

(委員) 町民が見た時に分かりやすいように、1行でいいので入れた方が良くと思います。

(委員長) 団体の負担を軽減しの中に、100%補助と通年申請が入っていると思います。

「団体の負担を軽減し、補助額を減額に設定し」はおかしくないですか。

もし、こういった補助金の方策が出てきたらどう思いますか。

(委員) 「団体の負担を軽減し、補助額を減額に設定し」低額はおかしい。

(委員長) 団体の負担を軽減する中に、通年申請と100%補助が入っていると思います。

それをここに書くかどうかです。

(委員) 折角大きく変わったところなので、通年申請は入れた方が良くと思います。

(委員長) 捉えの次に申請を通年することや100%補助にすることを入れて、などにより補助金申請における団体の負担を軽減し、にすると繋がると思います。

(委員) 補助金額を低額に設定しは、削除にしましょう。

(委員長) それでは、捉えの次に追加をして。低額を削除します。

(委員長) ⑤補足事項の所は、この表現で良いでしょうか。

(2) 見直し内容についての前文にこの内容を入れたいと思ったのですが、どうでしょうか。補助終了後のという出だしは変更が必要かとは思いますが、先ほどの諮問1のところ、推進方法について前文があって、そこから①が始まっていますので、この文章が補足だともったいないので、前文にどうかと考えています。

(委員) サポートセンターとの関係性はどうかだっただでしょうか。

(委員長) サポートセンターと一体となって補助金や相談機能などで支援をしていかないといけないうねって話だったと思います。補助が終わった後には、補助なしで動けるように支えるのは、人の力と知恵の力に頼る事になります。その知恵がある場所は、サポートセンターだと思います。

(委員) この内容を補足事項にしておくのはもったいないと思います。

(委員) 補助金は、こうすべきだという大前提が書かれている。前文にこれを入れた方が良いと思います。

(委員長) 私は、この文章がもったいないので前文の方がいいと思います。文章全体を前文に合うように修正して、移動することをお願いします。

つづいて、諮問3町民活動サポートセンターの運営及び支援のあり方について入ります。

中間答申で論議したところになりますので、修正箇所はあまりありませんが、ここにもアンケートの結果が出てきております。基本的な考え方としては存続であり、場所は利便性を踏まえて移設が必要と、この2点がここに書いてあります。

①運営については、「混乱を招かないためにも段階的な見直し」とありますが、混乱を招かないためなのではないでしょうか。現在も町職員が直接施設に居ないのに混乱は起きていないので、混乱はしないと思います。「混乱を招かないためにも」については削除が良いと思います。

委託をしても混乱はしませんが、大きな町外の団体などが来てしまうと、町内団体の育成に繋がらないことが考えられます。そのため、直営にして、町民の中からサポートセンターを運営したいという団体が出てくるといいなと思います。

平塚市などは、直営ですがスタッフを公募しています。5年間の採用で、採用の前に論文をだしてもらい、意欲があるスタッフが揃っている状態で、勉強も積極的にしています。

全てを民にする必要性はありませんが、段階的な見直しが有効というのは、その通りだと思います。

(委員) 民間の運営と町民の運営では、幅が違うと思いますがどうでしょうか。

(委員長) 民間というのは、企業や町外の団体なども含んでしまい幅が広いので、二宮町にはそぐわないと思いますので「民間による」は削除でどうでしょうか。

二宮町での考えとしては、町民の総意でサポートセンターをやりたいということだと思っているので、その事を意識した書き方にした方が良いです。町民運営という表現はいいと思います。

町民の中でそのような団体が出てくれば、指定管理もいかと思いますが、急に公募で委託業者募集としてしまうと、二宮町らしくないことになってしまうと思います。

(委員) 大きな企業が入ってきたら困るので、「民間による」は削除が良いです。

(委員) 次の従事者との表現は、他の言葉でどうでしょうか。

(委員長) スタッフなどもあります。職員といているところもありますが、誤解を招くので避けた方が良いです。

(委員) サポートセンタースタッフでどうでしょうか。

(委員長) それにしましょう。スタッフにするとボランティアスタッフも含める事ができるので、使いやすい言葉になります。

ハードルは高いのですが、理想を書いた方が良いと思います。

次の網掛けの部分にはいります。

(委員) サポートセンターに町民活動以外の情報を置いても来てくれるのかが疑問でした。

(委員長) 町民活動以外の情報だとすると、観光情報、施設の情報など色々あるのですが、町民活動をしている人以外を集めると言うよりも、町民活動をしている人が町民活動をする時に幅広く情報取得することができ役立つので、置いた方が良いと思います。この議論は、サポートセンターにいろんな人に来てもらいたいという希望から出てきているので、誘引するものがあれば来るのではないかという所かと思えます。

(事務局) 前回の話の中でそのようにとらえたので、町民活動以外の情報を置いておけば、活動をしていない人が見に来た時に活動報告書等も目に付いて、そこから活動に参加してみようとするきっかけになればということを書いてあります。

(委員長) コンパクトな町なので、縦割りに情報を置く必要性は無いと思います。何が置いてあっても良いと思います。あそこは何をしている施設なのだろうというハードルを下げる意味でもいろんなものを並べておくということが、参加を促す事に繋がるかもしれないです。

(委員) ここには、二つの事が入っています。1つは、町民活動以外の町の情報を置いて色々な情報が入るという事と、もう1つは、町民活動報告書を置いて、どのような活動をしているのかを知ってもらう機会を作る。

(委員長) 誘引して、知ってもらう機会を作る方法は、やった方が良いと思います。

(委員) 順番を変えた方が分かりやすいと思います。活動報告を置いておき、そこに町の情報を置いて、町民活動に参加していない人を呼びこむという書き方で良いのではないで

しょうか。シンプルに書いていいと思います。

(委員長) 何の目的のために何かを実施しますという構成で良いと思います。

補助金のところと同じようにシンプルでいいと思います。

(委員) 町民活動以外の情報等といきなり書いてしまうと、どんな情報なのか正しく理解されずに誤解を招いてしまうので、具体的にどのような情報ということを記載した方が良いでしょう。

(委員長) 藤沢市民活動推進センターでは、観光マップを置いているのですが良く持って行かれます。どうしてかという、活動している人は地図が割と必要で、イベント等をする時に、ここで桜が咲くなどの情報が書いてあるので評判が良いです。そういう情報収集をする人もいますので、置いても良いと思います。

(委員) まず一つとして「活動報告書などを掲示し町民活動団体がどのような活動をしているのか知ってもらう」後にそれ以外の事を繋げて活性化につながるとして、二つの文章に分けた方が分かりやすい。

(委員長) 書きだしは、活動報告書にしましょう。

情報相談コーナー等は二宮町にありますか。議会議事録とかがまとまって置いてある場所などありますか。

(事務局) 図書館だけになります。

(委員長) 情報コーナーがサポートセンターの中にあったら、面白いと思います。

議事録は、興味がある人は見に来ます。議会だよりや計画書なども置いてあるといいと思います。町の情報コーナーを作るという考えでいいと思います。

続いては、②施設の場所、③ハード機能は特に修正点ありません。

④ソフト機能については、「他団体の情報、活動状況の把握、情報提供」でその中に「活動内容や目的ごとに団体間の交流・ネットワークの醸成」が加わっています。ここが団体同士の交流に繋がるようになります。⑤利用料等で答申の内容は終わりとなって、最後に4番として協働まちづくりに向けた発展的な考察を入れていきます。13条や補助金の窓口については、おわりに書いてあるのでよいでしょう。

(委員) 町民活動推進補助金の要綱の改正については、入れるのかどうかの話が出ていたが、入れるのでしょうか。

(事務局) 方針が変われば進め方も変わってくるので、方針にあわせて改正が必要になるため、記載はしません。

(委員長) 答申に基づいて補助金要綱の変更をするにあたり、委員より内容整理をした文章が出されておりますので、確認をお願いします。

大きな変更は、前回報告いただいたのですが、事業を活動という言葉に変更がありました。あとは、番号の整理となります。それでは、委員より訂正箇所について説明をお願いします。

(委員) 第4条(2)については、各号に掲げるものと(1)と整合のため修正しました。

第5条(2)については、書き方に意図があれば確認したい。

(事務局) 要綱第5条(2)の20万円(または、1回目は20万2回目からは15万円)の記載については、以前の議論で一度20万円に決まったのですが、その後2回目からは15万円という意見が出されたので、委員の皆様どちらがよいのか確認するためにこのような記載となっております。どちらがよいでしょうか。

(委員長) 20万円で良いとお思います。

(委員) それでいいと思います。

(委員) 第6条(1)「二宮町町民活動推進補助金企画提案申込書(様式第1号)を、活動を行う前までに申請し、」となっておりますが、申込書を申請するのはおかしいので、「申請し」ではなく「提出する」ではないか。また、(2)の記載方法と揃え「次に掲げる書類を添付し、活動を行う前までに提出する。」と修正してみました。

年度内に完了するものとありますが、当たり前な事なので、申請書に注意書きで書いておけば、要綱に記載しなくてもよいかと思います。

(委員長) スタート支援は、申請が通年で出せることから、12月頃に申請されて4月に完了するというのを避けるために入れていると思います。

役所に関わっていると3月で終わるということが分かりそうなことなのですが、何年か活動計画書を見ていると4月より前の活動が計画書に入っていたりすることもあるので、書いてあった方がよいように思います。

(委員) 補助期間が書いてあるので、当然年度内に完了するのが当たり前だと思うのですが、それを超えるのはありえないと思ったので直したのですが、そういう事例があったのであれば気になったので修正しただけですので、大丈夫です。

(委員) 別表2の書き方で、基盤強化では分かりにくいように感じました。

(委員) 目的は団体活動が強化されるような補助金とするということですね。

(委員長) 基盤強化についての補助金は、ほとんど経費の対象となります。ただし、食費はカットしている市町村は多いです。

(委員) それを分かりやすく書いた方がよいと思います。

(委員長) ダメなのは食糧費になります。弁当代は活動に関係無く常にかかる費用なので、対象から外されることが多いです。あとは、人件費もメンバー内の人件費は、対象から外していることがあります。外部から呼んだ人への人件費のみとなっております。

これは20万円なので、全部OKにしてもいいのかな。

先ほど、必要か必要でないかという判断の指摘があったように、何が必要で必要でないのかは外部からでは分かりません。

(委員) 対象となる経費のところです。町民活動のスタート支援については、別表2の経費を対象とする。ステップアップ支援に関しては、基盤強化に関する経費を対象となりますとありますが、分かりにくいです。

ここで、あえて分ける理由が分かりません。スタート支援と違う所はどんなことでし

ようか。

(委員長) これだと一緒になってしまっているの、別にしなければいけないということです。

(委員) 具体的にスタート支援の対象とステップアップ支援の対象を別表で分けた方が良いと思います。

スタート支援については、事業そのものに出しましょうという事なので、細かい事は言わない。ただ、全額食糧などに充ててしまうと困ってしまいますが。

(委員長) 食糧費は全体の何分の1、人件費は全体の何分の1、という風に分けた方が良いと思います。

(委員) あまり細かく書いてしまうとスタート支援に繋がっていかないかなと思います。

スタート支援は、最低限こういう事はやめてくださいと書いた方がよいと思います。

(委員) ステップアップ支援を別表で書くとしたら、どう書いたらよいでしょうか。

(委員長) スタート支援が今に近くて、ステップアップ支援がフリー

(委員) 費用の種類が違うのではなくて、何に使うかが違う。例えば、スタッフが勉強会をするとなる場合は、今までは事業と関係ないから経費として対象外だったが、今回は対象となる。例えば、勉強のために大阪のボランティアセンターの勉強会に参加しませんでした時の交通費も対象になる。など、出る対象が違うだけで経費の種類は、変わらないのではないのでしょうか。

事業と関係があるかないかですね。

(委員長) 今までは、事業と関係ないものはダメで、団体の総会の費用とかもダメでしたが、今回は団体の総会等の会議費用も良いという事になる。あと、パソコンが欲しい時も、これまでは厳しかったことが、導入することで研修会をスムーズにおこなえることやプロジェクターをいつも借りていたのが、購入したことにより機動力が上がりますとか、あとは、コンサルティングを入れることにより相談が出来るとか、会計のソフト購入も含まれると思います。

(委員) その辺りの整理をして確認する必要があると思います。

(委員長) なんでもいいので整理が難しいです。

(委員) 委員会の中で何を対象とするのかの中身を議論していないかと思います。項目というより、どういったものなのか、こういった考えだよということを言っておかないと、そのことに触っておかないと具体的に進める時に、今みたいな感じに出てきてしまうと思います。

どこかにそれを、表現方法は分からないのですが、書いておいた方がよいと思います。

(委員) 直接事業に係る経費と限定するのか、それ意外も対象とするのかだと思います。

(委員) そうですね、そこの考え方について答申で触っておいた方がよいと思います。

答申のステップアップコースの所に説明してあげないといけないと思います。

(委員長) 答申書は、これで説明できていると思っていましたが、これでは足りないという事でしょうか。

(委員) ステップアップコースの基盤強化ですと何でも使えますよとらえていましたが、話を聞いていくうちに、迷ってきてしまいました。

(委員長) 何でも良いにしておかないと、基盤強化にした意味が無くなってしまいます。

(委員) ただ、どういった事が基盤強化なのか考えていくと、何でも基盤強化と捉えてしまう可能性もあります。

(委員長) 基盤強化と申請した人が言い出したとすると、それは、どこが強くなるのかという事をしっかりと出して貰う必要があります。申請書の中にも効果という項目があるので、そういった所にきちんと、パソコンを1台購入したことによって、今まで年間3回しか出来なかった外部への出張講習が12回できるようになりますとか、それによって収入が安定して次年度での活動が活発になります。というような効果を書いてもらい判断できればいいかと思います。

先ほどいった、会計のソフトを買います。ソフトを使用することによって、専門の人を一人雇うよりも、素人が入力して計算書を作成する事が出来て、雇用の費用が減る事で、活動が活発におこなう事が出来ますとか、例えばですがそんなことが書かれていけばいいかと思います。

(委員) 今の話を踏まえて先ほどの本編にもどりますが、諮問2(2)①補助金の仕組みついてですが、この中で、「現在の町民活動への補助金は、コース別になっているものの、町民活動団体の実施する「事業」に対して補助を実施してきた。」のところで、このあとに補足する文章が無くて、その後は手続きの問題になってしまっているの、ここに活動そのものではなくて、団体強化や活動の幅を広げていくための支援を、ここに入れていくといいと思います。そうしないと、後ろに繋がらないと思います。

(委員長) しかしながら、の後ろは、今までこんなにやってきたのに自立ができていないという事になります。自立ができていないという事はどういう事かという、その場限りのお金をその場で使ってしまう、財産に出来ていない。基盤強化は財産なので、団体の中に落ちていったものが無いという事からこの文章が出てきています。

(委員) 「継続的な活動団体の補助金の必要性や負担を感じるレベルが異なっていることが判った」と書いてあり、分かったように読んでしまいましたが、これは抽象的で今言ったような具体的な理由などが見えてこない。その場限りで終わってしまったなどの実態があり、それを継続させて育てていこうという事で事業では無く、組織の基盤強化をサポートしていきましょうという事になったと思います。この中に整理して入れていった方が良くと思います。

(委員長) 仕組みについてのところですね。

(委員) 事業だけだったから、こういう事にも補助金が見えるようにするという趣旨をいれたほうが良いと思います。

(委員長) 貸借対照表みたいな考えで、お金を渡したら、財産として落としていかないといけないのに、皆さんそれを全部消費してしまっている。

(委員) お金が無くなってしまって活動ができなくなってしまう。

(委員長) 貸借対照表のバランスが全く取れていないという所です。

資産を残していかないと活動はできません。

(委員) そのところは、うまく入れてください。

(委員) 諮問1(2)推進方法についての前文に少し書いてあって、「今後は長期的・継続的な活動のために「活動団体の組織基盤の整備」への支援を行っていくことが必要となります。」そのために、補助金もそのようになっていくと思います。ここを今のところに反映させるといいと思います。

(委員) それを踏まえて、こういう仕組みにしますという事で良いと思います。

(委員長) 同じ文章で良いと思います。その方が判りやすいと思います。

(委員長) 組み方を変えましたので、おさらいをします。意見がありましたら、よろしくお願ひします。

はじめにがあります。次の諮問1の(1)基本的な考え方については、大きなところから徐々に足元まで行くような感じで書きましょう。「このように、」の上に町の情勢や状況を入れたらどうでしょうか。見ると後の方に、色々書いてあるので、それをここに持って来るだけでいいと思うので、新たに文章を作らない方が良いと思います。

(2)推進方法については、見出しの①協働のまちづくりを削除して、「これまでは、」の文章は前文として扱う。点の見出しを①町民の参加意欲向上、②職員の認識向上、③町民活動等に関する推進計画とするが、①町民の参加意欲の向上に「協働によるまちづくり」という言葉を入れて欲しい。中段の「多くの町民が参加することにより」の辺りが良いとの意見でした。元の②発展的な考察については、後ろの論議の経過の前に移動をする。番号で言うと4番になります。

諮問2「町民活動推進補助金の補助のあり方について」ですが、(1)基本的な考え方について、(2)見直しの内容について、⑤補足事項の文章を修正して、前文に持ってくる。①補助金の仕組みについては、コース別に手間が係る事を軽減するだけではなくて、根本的に継続とか町民活動の活性化に向けた事のために実施するという事を加えて欲しい。

②補助の目的と内容については、スタートアップコースは、捉えのあとに通年申請の事を書き、「補助額を低額に設定し、」は削除する。ステップアップコースは、補助金の仕組みについて加えたので、変更はありませんでした。そして、補助対象団体、予算でこの諮問は終わり。

諮問3「町民活動サポートセンターの運営及び支援のあり方について」では、(1)基本的な考え方について、(2)見直し内容についてとあって、①運営についてのところで、「民間によると」「混乱を招かないためにも」を削除する。「従事者」はサポートセンタースタッフに変更する。最後の「窓口で町民活動以外の情報等を置き」のところは、頭出しを活動報告書として、この活動報告書は団体の活動報告書なので、

このままでは何の活動報告書か分からないので、団体活動報告書と修正して、文章を整理する。後は、②③④⑤は、特に変更がありませんでした。

4 協働のまちづくりに向けた発展的な考察をここに移動して、5 論議の経過、6 資料、7 おわりにとなります。

おわりについて、過不足がありましたら、ご意見のをお願いします。

お礼など入っていなかったのので、文章として入れた方が良くと思います。

気になった点としては、いきなり推進計画について出ているのですが、仮称でもいいので（仮称）二宮町町民活動推進計画など書いた方がいいと思います。あと、13条のことが見直しの対象のように見えてしまうので、委員会では見直そうとは言わず、大切に使おうと言って、「活用や」で一回止まって、次が内容になるので切れるのですが、文章的に繋がってしまっているの、13条の見直しがピックアップして書いてあるようにとらえてしまう。

（事務局）表現方法を考えます。

（委員長）論議の上、あった方がいいなとなった推進計画、推進委員会でも評価まで行かなくても進捗状況を確認したいと言う意見が多かったので、そのことと。あとがきなので、本編ではないので、自分達の思いを書いてしまってもいいのかなと思います。答申の場合は、ある程度本編に書かれている内容については、真摯に受け止めて施策に反映することになると思います。ただ、あとがきなので、無理難題を言ったとしてもいいのかなと個人的には思っております。

（委員）初めの4行は、はじめにも書いてあるので、入れなくても良いですよ。

（委員長）「また、」から後が、おわりの本編ですね。

後書きに入れて欲しいことは、他に何かありますか。

（委員）インパクトがあるのですと、補助金等の精査かと思います。

（委員）「政策部門も含め行政全体で協力体制を構築し、」のところは、町民活動を推進するために協力体制をしてくださいとの意味だと思います。次の「補助金に関しても」という書き方は、町民活動の補助金に限定するようになってしまいます。町全体の補助金をもう一度見直して欲しくていっているの、このままの表現だとダメだと思います。

（委員長）補助金の前に全てのなどを追加でいかがでしょうか。二宮町が扱っている全ての補助金など。

（委員）それに類するものなど

（委員）いきなりそのことを書くか、もう少し丁寧にこの議論を進めていく中で、町民活動以外に地域で使ういろいろな補助金があって、

（委員）今、見直しているとは思う。窓口を一つにして見直さないといけないとなっているのではないかな。

（委員）やっていたとしても、委員会でもそのように考えていますということは、書いた方がいいと思います。

(委員) 中身を精査すれば、改正案や重複とか、そこでそういう活動しているなら、こっちでも似たようなことをやっているのだから協力したらとか色々なことが出てくる。

(委員長) 窓口の統一化だけでは無く、統一化は一つの手段ですので統一するなどとか、もしかしたら連携をとるだけでもうまくいくかもしれない。

(委員) 窓口を統一では無く、管理を統一したいです。その他の補助金の中身を検討しているということですか。

(委員長) 月末までに最終案を委員に送れるようにしてください。

次回の会議は、2月5日14時からお願いします。

#### 4. 閉会

(委員長) それでは、時間となりましたので、閉会します。お疲れ様でした。

議事録署名人 \_\_\_\_\_

議事録署名人 \_\_\_\_\_